

ごみ減量化・リサイクルに関する事業所アンケート 調査結果

1. 調査概要

(1) 目的

この調査は、事業所のごみに関する行動や考え方を把握し、「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の見直しの基礎資料とするために実施した。

(2) 調査期間と方法

調査期間：令和 7 年 8 月

調査方法：郵送配布、郵送またはウェブにて回答回収

(3) 調査対象

生駒市内 100 事業所

※減量化計画書提出事業所、大規模商業施設、従業員数 30 名以上の事業所

(4) 調査項目

- ・回答事業所について
- ・ごみの処理の状況について
- ・社会全体でのごみ減量や資源循環につながる事業活動について
- ・市の支援策について

(5) 回収の結果

有効回収票数：41 票

有効回答率：41.0%

(6) 留意点

- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が 100%にならない場合がある。
- ・グラフ中の n とは、回答者数を表し、無回答を含むが、無効・除外した回答を含まない。

2. 回答者の概要

(1) 従業者数 (n=41)

選択肢	実数	パーセント
0-10 人	4	9.8%
11-20 人	7	17.1%
21-30 人	6	14.6%
31-40 人	6	14.6%
41-50 人	3	7.3%
51-60 人	2	4.9%
61-70 人	0	0.0%
71-80 人	1	2.4%
81-90 人	0	0.0%
91-100 人	4	9.8%
100 人以上	6	14.6%
無回答	2	4.9%
合計	41	100.0%

(2) 業種 (n=41)

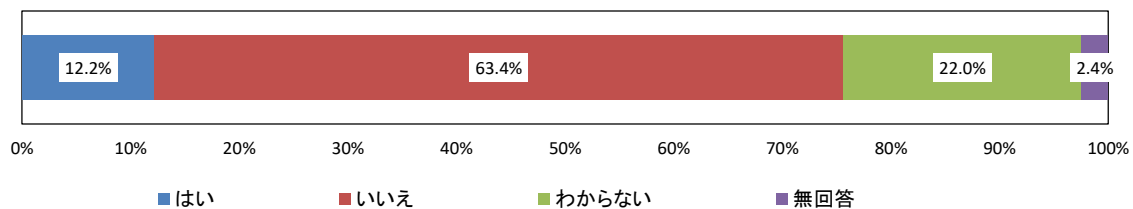
選択肢	実数	パーセント
建設業	2	4.9%
製造業	18	43.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
運輸業	1	2.4%
情報通信業	0	0.0%
卸売業	0	0.0%
総合小売業（総合スーパー、百貨店）	2	4.9%
食品小売業（食品スーパー含む）	2	4.9%
その他物品小売業	4	9.8%
飲食店	2	4.9%
金融・保険業	1	2.4%
不動産業	0	0.0%
駐車場業	0	0.0%
旅館・ホテル	0	0.0%
病院・医療	2	4.9%
社会福祉	2	4.9%
教育	0	0.0%
その他のサービス業	2	4.9%
その他	2	4.9%
無回答	1	2.4%
合計	41	100.0%

(3) 事業所の形態 (n=41)

選択肢	実数	パーセント
事務所・営業所	11	26.8%
店舗（食品）	6	14.6%
店舗（物販）	4	9.8%
工場・作業所	15	36.6%
病院・薬局	1	2.4%
理容院・美容院	0	0.0%
塾・教育施設	0	0.0%
その他	3	7.3%
無回答	1	2.4%
合計	41	100.0%

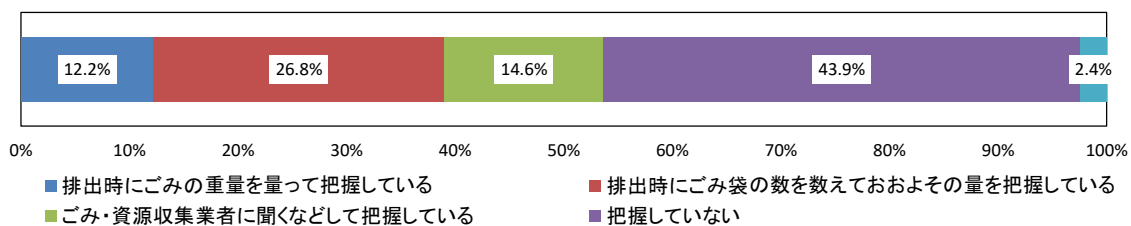
(4) 「事業系一般廃棄物減量化計画書」を提出する多量排出事業者かどうか (n=41)

「いいえ」が63%で、「はい」12%であった。



(5) 「事業系の燃えるごみ」の排出量の把握状況 (n=41)

「把握していない」が約44%で最も多く、次いで「排出時にごみ袋の数を数えている」が約27%、「ごみ・資源収集業者に聞く」が約15%であった。



3. 調査結果の詳細

(1) ごみ処理の状況について

問6 貴事業所から排出されるごみの排出・処理方法をお教えてください。入居している建物の管理会社等が設置したごみ集積所等に排出している場合で、処理方法が不明な場合は、管理会社等に確認してお答えください。(単一回答)

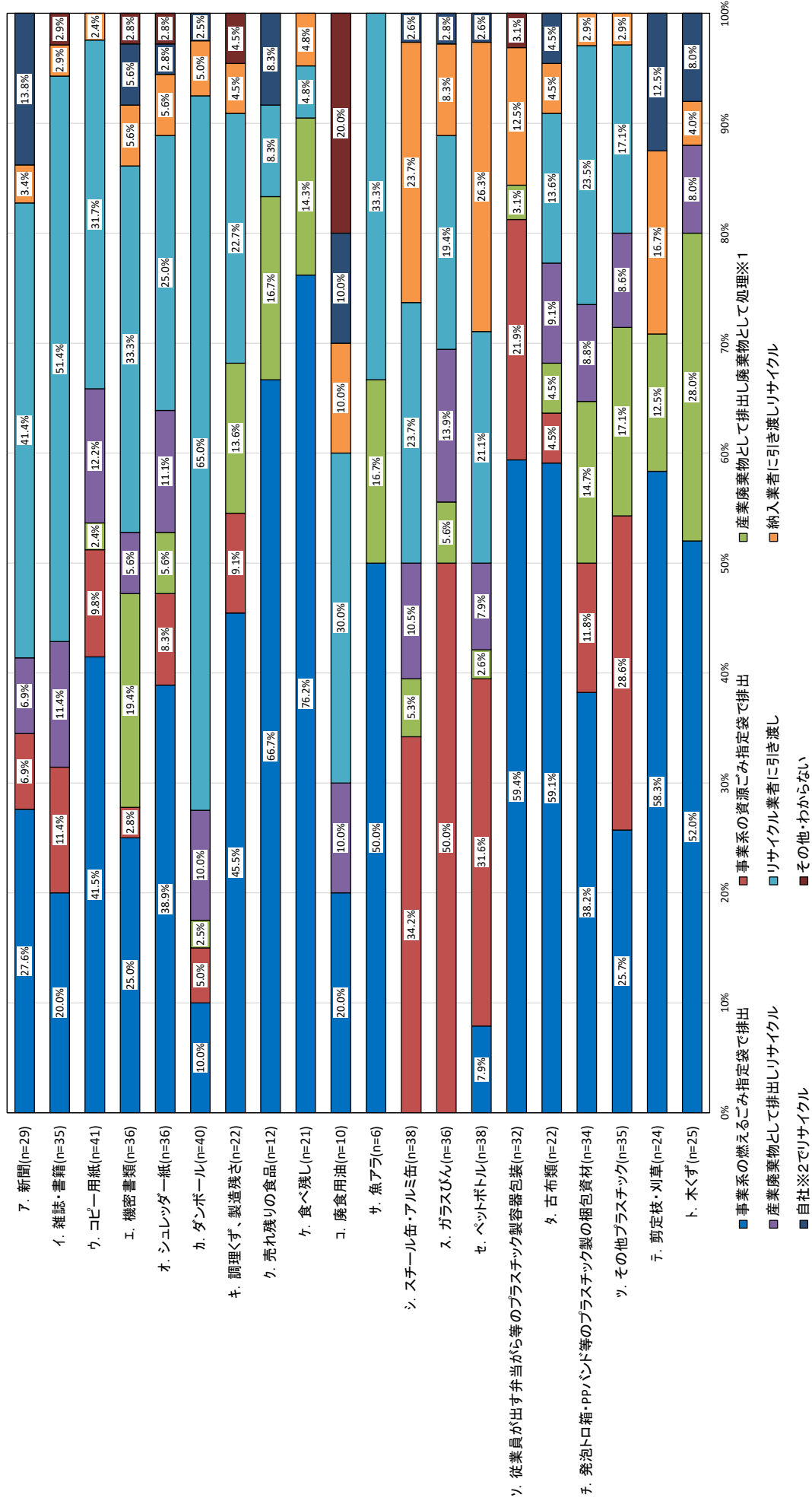
ア～カの紙類については、いずれの品目についても「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」と「リサイクル業者に引き渡し」が多くを占めていた。そのうち、「ウ.コピー用紙」(約42%)、「オ.シュレッダー紙」(約39%)については「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が最も多く、「ア.新聞」(41%)、「イ.雑誌・書籍」(51%)、「エ.機密書類」(33%)、「カ.ダンボール」(65%)については「リサイクル業者に引き渡し」が最も多かった。

キ～サの食品廃棄物については、「J.廃食用油」を除いていずれも「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が最多であり、それぞれ、「キ.調理くず、製造残さ」は約46%、「ク.売れ残りの食品」は約67%、「ケ.食べ残し」は76%、「サ.魚アラ」は50%であった。「J.廃食用油」は「リサイクル業者に引き渡し」が30%で最も多かった。

缶・びん・ペットボトルといった資源物については、「シ.スチール缶・アルミ缶」は34%、「ガラスびん」は50%、「セ.ペットボトル」は約32%でいずれも「事業系の資源ごみ指定袋で排出」が最も多く、「リサイクル業者に引き渡し」「納入業者に引き渡しリサイクル」も多かった。

その他の品目については、「リ.従業員が出す弁当がら等のプラスチック製容器包装」は59%、「タ.古布類」は59%、「チ.発泡トコ箱・PPバンド等のプラスチック製の梱包資材」は38%、「テ.剪定枝・刈草」が58%、「ト.木くず」が52%でいずれも「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が最も多かった。「ツ.その他プラスチック」については、「事業系の資源ごみ指定袋で排出」が約29%、「事業系の燃えるごみ指定袋で排出」が約26%であり、これらが多くを占めていた。

なお、「発生しない」と「無回答」は除いて集計している。



※1 リサイクルされずに焼却や埋立処分されている

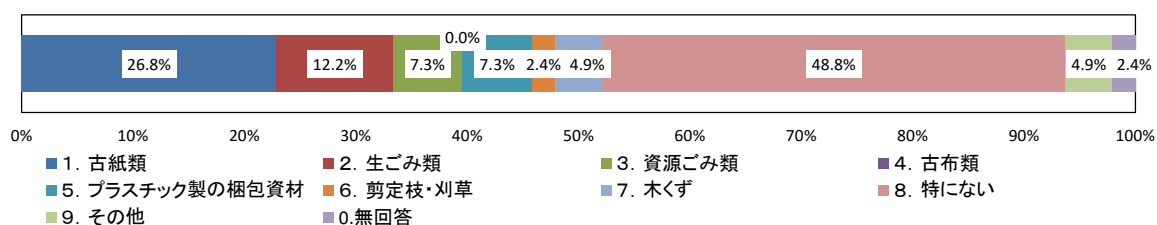
※2 グループ企業を含む

問7 貴事業所のごみで、「リサイクルをしようとしたができなかったごみ」があれば教えてください。（自由記入）

- ・鉄粉
- ・感染性廃棄物

問8 今後、特に減量化またはリサイクルしたいと考えているごみは何ですか。（複数回答、n=41）

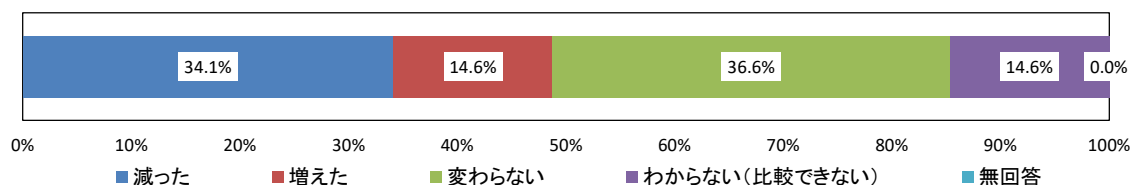
「8.特にない」が約49%で最も多く、次いで「1.古紙類」が約27%、「2.生ごみ類」が12%であった。



問9 5年前と比べて貴事業所から出る「事業系の燃えるごみ」の量は減りましたか。

（単一回答、n=41）

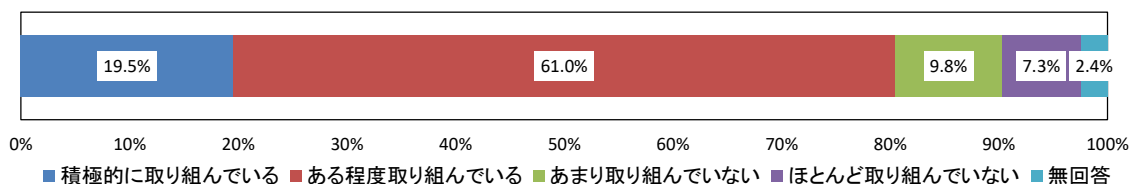
「変わらない」が約37%で最も多く、次いで「減った」が34%、「増えた」、「わからない」が約15%であった。



問 10 貴事業所では、ごみの減量化・リサイクルにどの程度取り組んでいますか。

(単一回答、n=41)

取り組んでいる（積極的に取り組んでいる、ある程度取り組んでいる、の計）が約 81%と、取り組んでいない（あまり取り組んでいない、全くあまり取り組んでいない、の計）の 17%を大きく上回っている。

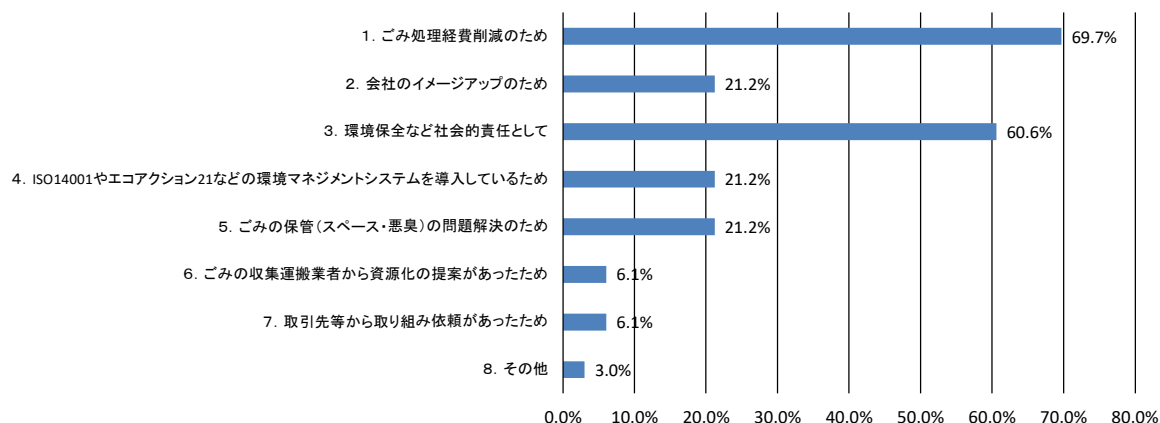


問 11 問 10「1. 積極的に取り組んでいる」「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。

貴事業所でごみの減量化・リサイクルに取り組む理由は何ですか。

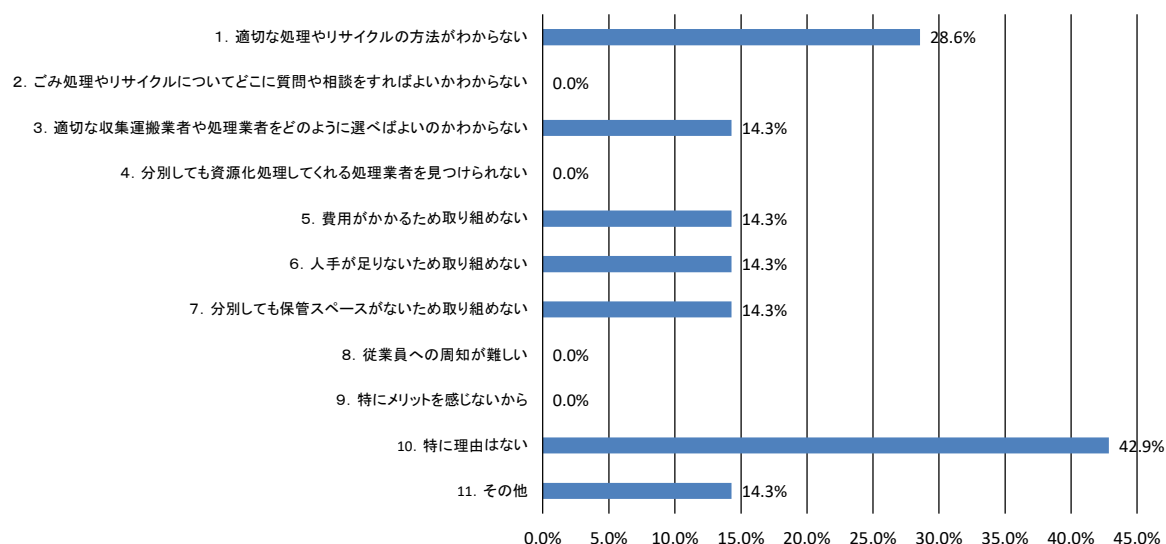
(複数回答、n=33)

「1.ごみ処理経費削減のため」が約 70%で最も多く、次いで「3.社会的責任のため」が約 61%、「2.会社のイメージアップ」、「4.環境マネジメントシステムの導入しているため」、「5.ごみ保管の問題解決のため」が 21%であった。



問 12 問 10 で「3. あまり取り組んでいない」「4. ほとんど取り組んでいない」を選んだ方にお聞きします。ごみの減量化・リサイクルに取り組めない理由は何ですか。
(複数回答、n=7)

「10.特に理由はない」が約 43%で最も多く、次いで「1.処理などの方法がわからない」が約 29%、「3.収集運搬業者等の選び方がわからない」、「5.費用がかかるため取り組めない」、「6.人手不足のため取り組めない」、「7.保管スペースがないため取り組めない」が 14%であった。



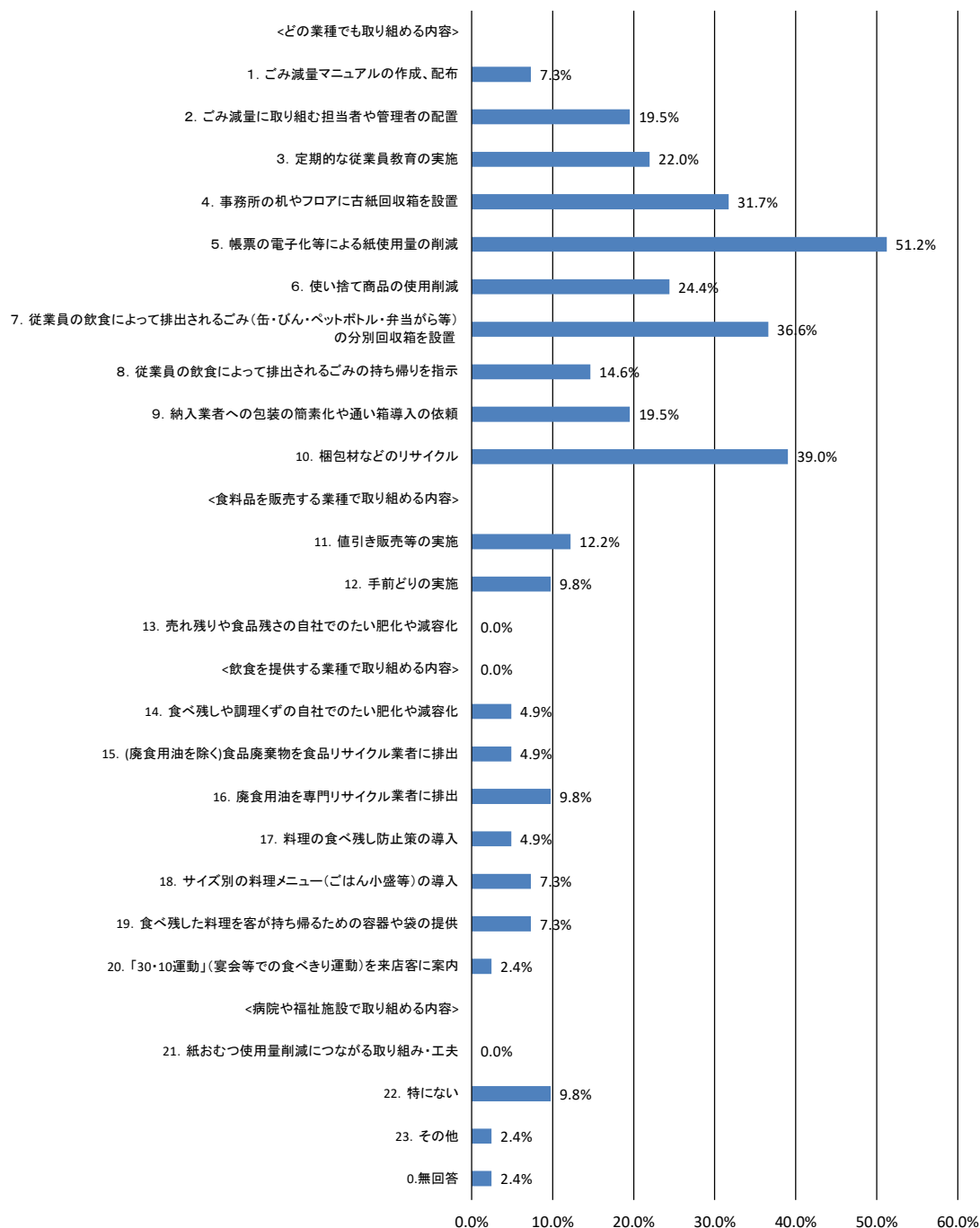
問 13 貴事業所での取り組み、取り組み意向について教えてください。

問 10 で「1. 積極的に取り組んでいる」「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方は、貴事業所で発生するごみの減量化・リサイクルの取り組みを選んでください。

問 10 で「3. あまり取り組んでいない」「4. ほとんど取り組んでいない」を選んだ方は、今後取り組みたいものを選んでください。

(複数回答、n=41)

「5. 帳票の電子化等による紙使用量の削減」が 51%で最も多く、次いで「10. 梱包材などのリサイクル」が 39%、「7. 従業員の飲食によって排出されるごみ」が約 37%であった。



(2) 社会全体でのごみ減量や資源循環につながる事業活動について

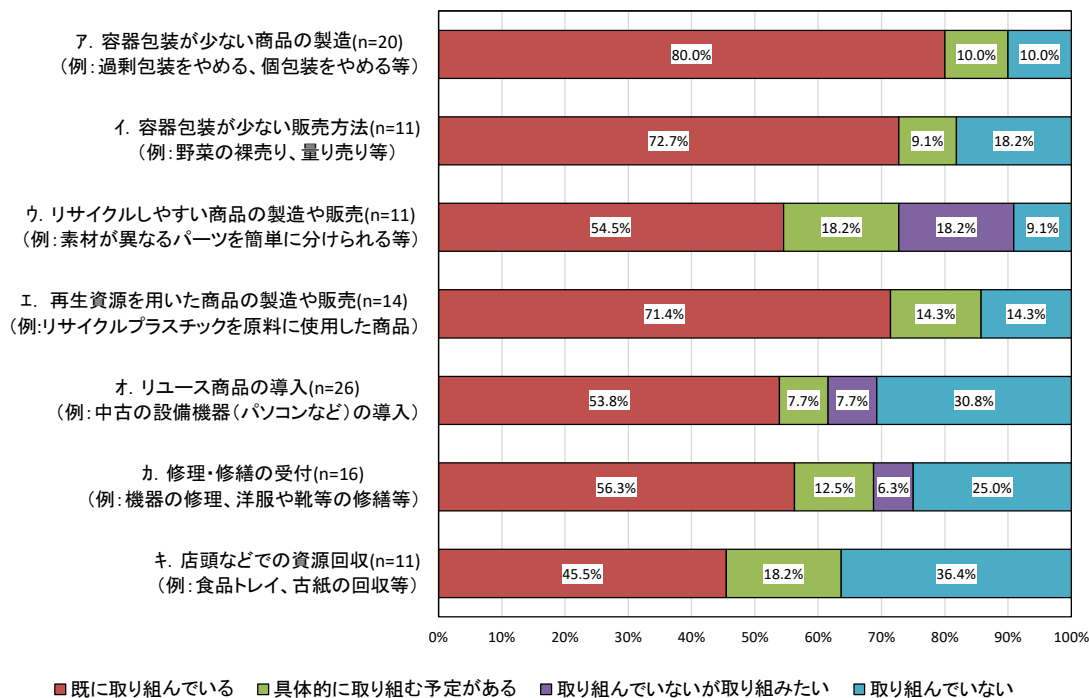
問 14 事業者だけでなく、社会全体でごみ減量やリサイクルなどにつながる商品・サービスへの取り組み状況について教えてください。(単一回答)

「ア.容器包装が少ない商品の製造」、「イ.容器包装が少ない販売方法」、「エ.再生資源を用いた商品の製造や販売」については、「既に取り組んでいる」がいずれも70%以上で多かった。

「ウ.リサイクルしやすい商品の製造や販売」、「オ.リユース商品の導入」、「カ.修理・修繕の受付」については、「既に取り組んでいる」がいずれも54%～56%と、過半数ではあるがア、イ、エと比較すると少なかった。これらのうち、「オ.リユース商品の導入」、「カ.修理・修繕の受付」については、「取り組んでいない」がそれぞれ約31と25%でア～カの中では多かった。

「キ.店頭などでの資源回収」については、「既に取り組んでいる」が約46%と最も少なく、50%を切っていた。また、「取り組んでいない」については最も多かった。

なお、「あてはまらない」と「無回答」は除いて集計している。



問 15 事業者・市民が協働する「ごみ減量」や「資源循環」につながる取り組みに関心がありますか。（次の「取り組みの例」をお読みいただいた上でご回答ください。）

（単一回答、n=41）

事業者・市民が協働する「取り組みの例」（あくまで例示です）

例①

食品スーパーで来店者が持参した容器を用いて量り売りをする



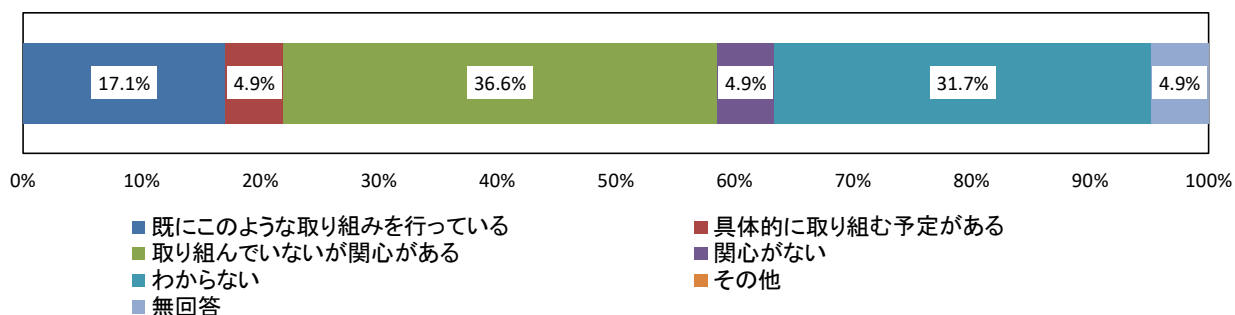
例②

飲食店で余った料理を市民が購入し食品ロスを減らす取り組み

例③

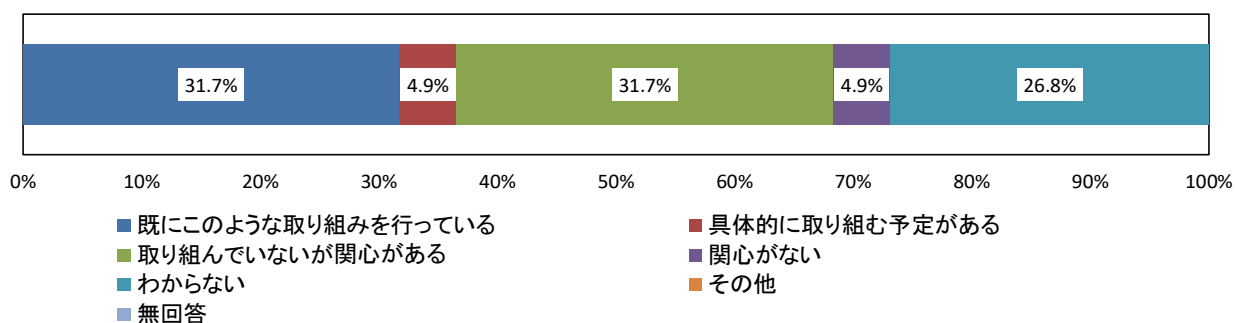
製造工場が発生する端材を工作やDIY等の素材として提供し工場のごみを減らす取り組み

「取り組んでいないが関心がある」が約 37%、「わからない」が約 32%であった。



問 16 生駒市は令和元年に、国から「SDGs※未来都市」に選定され、地域電力会社であるいこま市民パワーと連携した取り組み、空き家の流通促進や高齢者支援、子育て支援、滞在型ツーリズムの取り組み、農業者等への支援など SDGs のゴール達成に向けた様々な取り組みを展開しています。貴事業所では市の SDGs 関連施策と連携した取り組みに関心がありますか。(単一回答、n=41)

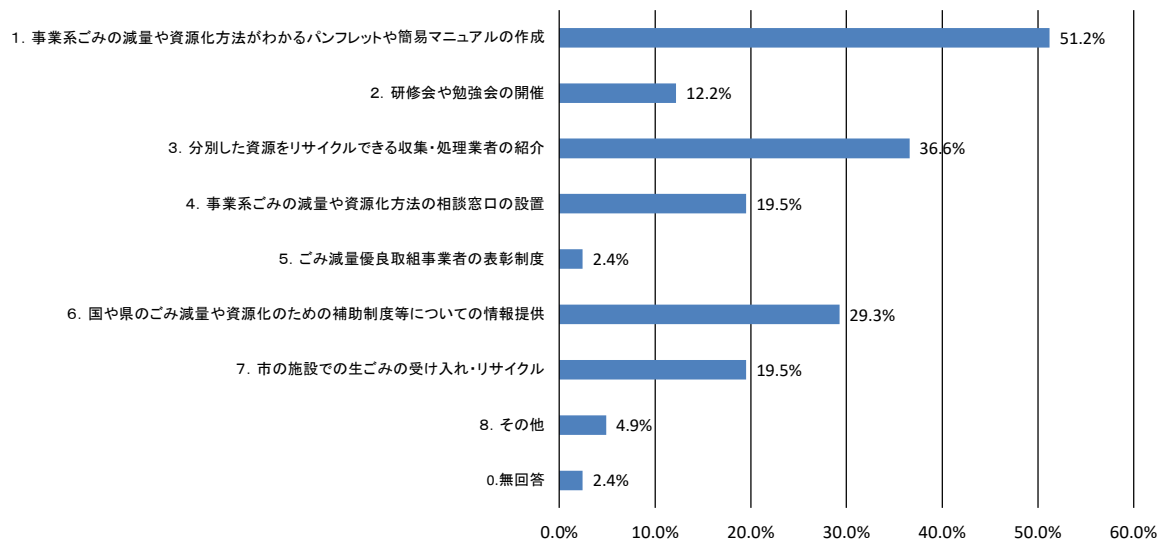
「既にこのような取り組みを行っている」、「取り組んでいないが関心がある」が約 32%、「わからない」が約 27%であった。



(3) 市の支援策について

問 17 貴事業所がごみ減量や資源化に取り組むために、市に求める支援策は何ですか。
(複数回答、n=41)

「1.パンフレットや簡易マニュアルの作成」が 51%で最も多く、次いで「3.収集・処理業者の紹介」が約 37%、「6.補助制度等についての情報提供」が 29%であった。



問 18 ごみ減量化・リサイクルに関して、今後の意向、ご意見がありましたらご記入ください。
(自由回答)

・店舗でも回収しているが 家庭でのペットボトルの回収頻度を上げていただきたい

以上

卷 末 資 料

調 查 票

ごみ減量化・リサイクルに関する事業所アンケート調査

事業所の皆様には、平素から生駒市の環境行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、ごみ処理についての基本的な事項及び施策を定める「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の中間見直しを進めています。

特に排出量の抑制・削減に向けては、市民・事業者・行政の協力・連携が不可欠であり、これまで以上に施策・取り組みを進めていく必要があります。

本アンケート調査は、事業所の皆様の貴重なご意見をお聞きし、計画改定の基礎資料としたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査へのご協力をよろしくお願いします。

令和7年8月
生駒市

<調査のあらましと個人情報の取り扱い>

○この調査票は、「事業系一般廃棄物減量化計画書」提出事業所を中心に、市が選定した市内の大規模事業所（100 事業所）にお送りしています。

○この調査による回答はすべて統計的に処理した上でその結果を活用します。個々の調査票や回答がそのまま公表されることはありません。

〔ご回答についてのお願い〕

1. 本社・本店等ではなく、この調査票が届いた事業所・店舗でご回答ください。
2. 貴事業所の中でどなたが回答されても結構ですが、回答者個人ではなく、「事業所として」回答いただけるようご配慮ください。
3. 次の①、②のいずれかの方法でご回答ください。

①お送りした調査票（この冊子）で回答する

- ・ 回答欄の該当する番号に○印を付けてください。
一部、番号を選んで回答欄にその番号を記入する様式の質問もあります。
- ・ 記入欄には、自由にご意見等をご記入ください。
- ・ 回答された記入票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。



②パソコン・スマートフォン等でインターネット上で回答する

- ・ 次のアドレスにアクセス頂き、説明に従って回答してください。

<https://questant.jp/q/IKOMAR7JG>

（スマートフォン等で回答される場合、右上の QR コードからもアクセス可能です。）

8月29日（金曜日）までに、お近くの郵便ポストに投函してください。

本アンケート調査に関するご質問は、下記までご連絡ください。

<問い合わせ先>

生駒市役所 地域活力創生部 環境保全課

TEL: 0743-74-1111 （内線：2362）

○貴事業所について

問1 貴事業所の従業員数について教えてください。

人

問2 貴事業所の業種について教えてください。

【当てはまる番号1つに○】

1. 建設業	2. 製造業	3. 電気・ガス・熱供給・水道業	4. 運輸業
5. 情報通信業	6. 卸売業	7. 総合小売業（総合スーパー、百貨店）	
8. 食品小売業（食品スーパー含む）	9. その他物品小売業	10. 飲食店	
11. 金融・保険業	12. 不動産業	13. 駐車場業	14. 旅館・ホテル
15. 病院・医療	16. 社会福祉	17. 教育	18. その他のサービス業
19. その他（			）

問3 貴事業所の形態をお教えてください。

【当てはまる番号1つに○】

1. 事務所・営業所	2. 店舗（食品）	3. 店舗（物販）
4. 工場・作業所	5. 病院・薬局	6. 理容院・美容院
7. 塾・教育施設	8. その他（	）

問4 貴事業所は生駒市に毎年「事業系一般廃棄物減量化計画書」を提出する多量排出事業者ですか。

【当てはまる番号1つに○】

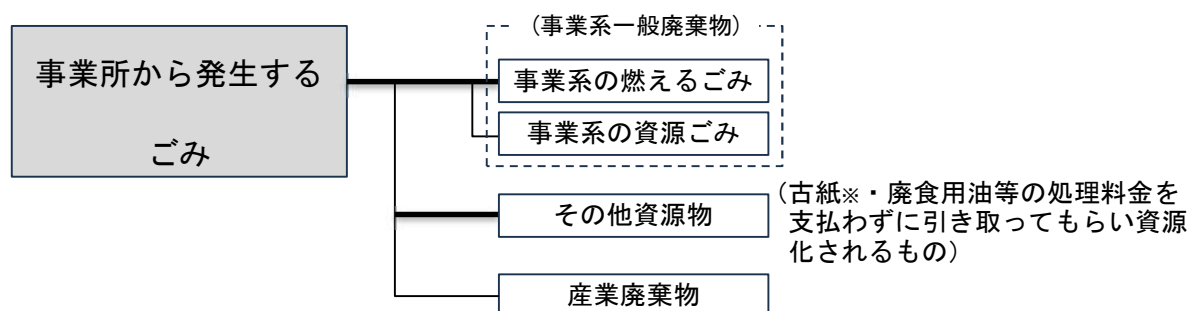
1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問5. 貴事業所では「事業系の燃えるごみ」の排出量を把握していますか。

（次の「事業所から発生するごみについて」をお読みいただいた上でご回答ください。）

<事業所から発生するごみについて>

生駒市内の事業所から発生するごみ・資源物は、「事業系の燃えるごみ」・「事業系の資源ごみ」・「その他資源物」・「産業廃棄物」のおおよそ4つに分けて排出します。なお、このアンケートで単に「ごみ」と記しているときは、これら4つをすべて含めた意味で用いています。



※建設業、製本業、パルプ・紙・紙加工品製造業等から発生する古紙は産業廃棄物になります。

【当てはまる番号1つに○】

1. 排出時にごみの重量を量って把握している
2. 排出時にごみ袋の数を数えておおよその量を把握している
3. ごみ・資源収集業者に聞くなどして把握している
4. 把握していない

〇ごみ処理の状況について

問6 貴事業所から排出されるごみの排出・処理方法をお教えてください。入居している建物の管理会社等が設置したごみ集積所等に排出している場合で、処理方法が不明な場合は、管理会社等に確認してお答えください。

【ごみの種類（ア.～ナ.）毎に、主に当てはまる番号1つに〇】

排出・処理方法 ごみの種類		事業系の燃えるごみ 指定袋で排出	事業系の資源ごみ 指定袋で排出	産業廃棄物として排出 産業廃棄物として処理	産業廃棄物として排出 産業廃棄物として処理	リサイクル業者に 引き渡し	納入業者に引き渡し リサイクル	自社※2でリサイクル	発生しない	その他・ わからない
古紙類	ア. 新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	イ. 雑誌・書籍	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ウ. コピー用紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	エ. 機密書類	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	オ. シュレッダー紙	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	カ. ダンボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
生ごみ類	キ. 調理くず、製造残さ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ク. 売れ残りの食品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ケ. 食べ残し	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	コ. 廃食用油	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	サ. 魚アラ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資源ごみ類	シ. スチール缶・アルミ缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ス. ガラスびん	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	セ. ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	リ. 従業員が出す弁当がら等の プラスチック製容器包装	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他	タ. 古布類	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	チ. 発泡トレイ箱・PP バンド等のプラ スチック製の梱包資材	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ツ. その他プラスチック	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	テ. 剪定枝・刈草	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ト. 木くず	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ナ. その他（ ）	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※1 リサイクルされずに焼却や埋立処分されている

※2 グループ企業を含む

【当てはまる番号すべてに○】（回答後、問13(次の設問)に進んでください）

1. 適切な処理やリサイクルの方法がわからない
2. ごみ処理やリサイクルについてどこに質問や相談をすればよいかわからない
3. 適切な収集運搬業者や処理業者をどのように選べばよいのかわからない
4. 分別しても資源化処理してくれる処理業者を見つけられない
5. 費用がかかるため取り組めない
6. 人手が足りないため取り組めない
7. 分別しても保管スペースがないため取り組めない
8. 従業員への周知が難しい
9. 特にメリットを感じないから
10. 特に理由はない
11. その他（ ）

【当てはまる番号すべてに○】

1. ごみ減量マニュアルの作成、配布
2. ごみ減量に取り組む担当者や管理者の配置
3. 定期的な従業員教育の実施
4. 事務所の机やフロアに古紙回収箱を設置
5. 帳票の電子化等による紙使用量の削減
6. 使い捨て商品の使用削減
7. 従業員の飲食によって排出されるごみ（缶・びん・ペットボトル・弁当がら等）の分別回収箱を設置
8. 従業員の飲食によって排出されるごみの持ち帰りを指示
9. 納入業者への包装の簡素化や通い箱導入の依頼
10. 梱包材などのリサイクル

11. 値引き販売等の実施
12. 手前どりの実施
13. 売れ残りや食品残さの自社でのたい肥化や減容化

14. 食べ残しや調理くずの自社でのたい肥化や減容化
15. (廃食用油を除く)食品廃棄物を食品リサイクル業者に排出
16. 廃食用油を専門リサイクル業者に排出
17. 料理の食べ残し防止策の導入
18. サイズ別の料理メニュー(ごはん小盛等)の導入
19. 食べ残した料理を客が持ち帰るための容器や袋の提供
20. 「30・10運動」(宴会等での食べきり運動)を来店客に案内

22. その他 ()

23. 特になし

○社会全体でのごみ減量や資源循環につながる事業活動について

問14 事業者だけでなく、社会全体でごみ減量やリサイクルなどにつながる商品・サービスへの取り組み状況について教えてください。

【取り組み（ア.～ク.）毎に当てはまる番号1つに○】

取り組み 取り組み状況・意向など	既に 取り組ん でいる	具 体的 に取 り組 む 予 定 が あ る	が 取 り 組 ん で い な い	取 り 組 ん で い な い	あ て は ま ら な い
ア. 容器包装が少ない商品の製造 （例：過剰包装をやめる、個包装をやめる等）	1	2	3	4	5
イ. 容器包装が少ない販売方法 （例：野菜の裸売り、量り売り等）	1	2	3	4	5
ウ. リサイクルしやすい商品の製造や販売 （例：素材が異なるパーツを簡単に分けられる等）	1	2	3	4	5
エ. 再生資源を用いた商品の製造や販売 （例：リサイクルプラスチックを原料に使用した商品）	1	2	3	4	5
オ. リユース商品の導入 （例：中古の設備機器（パソコンなど）の導入）	1	2	3	4	5
カ. 修理・修繕の受付 （例：機器の修理、洋服や靴等の修繕等）	1	2	3	4	5
キ. 店頭などでの資源回収 （例：食品トレイ、古紙の回収等）	1	2	3	4	5
ク. その他 （ ）	1	2	3	4	5

問15 事業者・市民が協働する「ごみ減量」や「資源循環」につながる取り組みに関心がありますか。

（次の「取り組みの例」をお読みいただいた上でご回答ください。）

事業者・市民が協働する「取り組みの例」（あくまで例示です）

例①

食品スーパーで来店者が持参した容器を用いて量り売りをする事で容器包装を減らす取り組み



例②

飲食店で余った料理を市民が購入し食品ロスを減らす取り組み

例③

製造工場で発生する端材を工作やDIY等の素材として提供し工場のごみを減らす取り組み

【当てはまる番号1つに○】

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 既にこのような取り組みを行っている | 2. 具体的に取り組む予定がある |
| 3. 取り組んでいないが関心がある | 4. 関心がない |
| 5. わからない | |
| 6. その他（ ） | |

